

【農業関係】奥能登地域では、水稻等の作付けによる営農再開面積は当初見込みを上回り令和5年水稻作付面積の約8割に拡大。乾燥調製施設の応急復旧は8月末までに完了。園芸品目ではすいかの集出荷場の復旧が完了し、7月10日より出荷を開始。引き続き、現地事務所等にMAFF-SATを配置し、来期の営農再開が可能となるよう、農地等の復旧に向けた技術的助言等を実施。

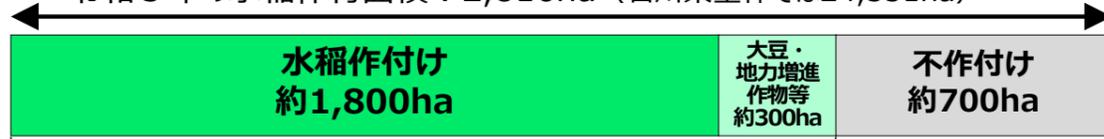
【林野関係】治山・林道施設について、災害査定の一簡素化・効率化を図り、順次、本復旧工事に着手。大規模な山腹崩壊等の復旧は、引き続き応急工事等実施。

1. 農業関係の取組状況

- 奥能登地域での**水稻作付けは当初見込みを200ha上回る約1,800ha**、大豆や地力増進作物等の作付けも**当初見込みを100ha上回る300ha**に拡大し、営農再開面積は**前年比の約8割**。

【令和6年の奥能登4市町における水田の作付け状況】

令和5年の水稻作付面積：2,816ha（石川県全体では24,551ha）



営農再開 約2,100ha（前年比の約8割） ※石川県の中能登以南、新潟県及び富山県は概ね例年どおりの水稻作付け

- 秋の収穫期に間に合うよう、奥能登管内の農協の乾燥調製施設は、全9か所中8か所で、**収穫期前の8月末までに応急復旧を完了**。今後、復旧が困難な施設については近隣の施設との統合を予定。

【奥能登地域の乾燥調製施設】



<「能登すいか」の出荷再開>

- 志賀町（JA志賀）では、被災したすいか集出荷場の選果機を今作の出荷に間に合うよう復旧し、**7月10日より出荷を開始**。
- 前年並みの出荷量**（令和5年産は、生産量：220.7t、面積：8.4ha）を確保。



すいか集出荷場(8/1坂本大臣視察)

2. 農地・農業用施設等の復旧に向けた取組状況

- 農地**（2,270箇所）、**農業用施設等**（8,078箇所）が被災。**災害査定の一簡素化・効率化**を図り、順次、本復旧工事に着手し、**令和8年度の工事完了**を目指す。
- 農地海岸の直轄代行工事**（1地区、7海岸）は、7月に大型土のう設置等の**応急工事が完了**。被災した護岸等の調査・設計を実施中。今後、本復旧工事に着手し、**令和8年度の工事完了**を目指す。
- 農地地すべりの直轄代行工事**（1地区）は、崩落土砂撤去等の応急工事及びボーリング等による地質調査を実施中。今後、本復旧工事に着手し、**令和7年度の工事完了**を目指す。
- 石川県内の**農業集落排水施設**（68地区）は、現在、本復旧に向け被災した管路等の設計を実施中。今後、順次、本復旧工事に着手し、**令和8年度の工事完了**を目指す。



災害査定の実施状況（能登町）



大型土のう設置（農地海岸）（七尾市）



崩落土砂撤去（農地地すべり）（輪島市）

3. 林野関係の取組状況

- 治山施設**（52箇所）、**林道施設**（2,282箇所）が被災。**災害査定の一簡素化・効率化**を図り、順次、本復旧工事に着手。
- 山腹崩壊**（97箇所）が発生。国直轄で復旧を行う大規模なもの（5区域、9箇所）は応急工事とともに、本復旧に向けた調査を実施中。県・市町が主体となって復旧対策を行うものについても順次、本復旧工事に着手。
- 被災した**木材加工流通施設**等の整備や毀損した施設の撤去等を支援しており、一部の事業者を除き**営業を再開**。



土砂撤去



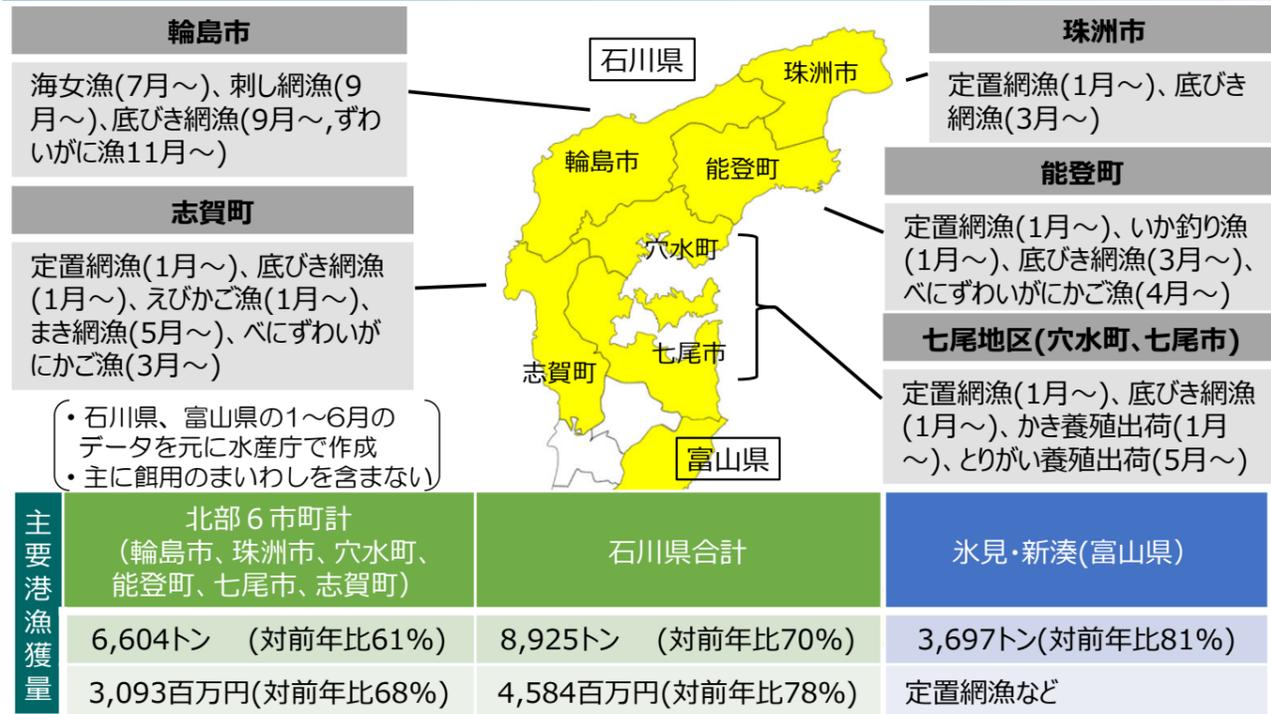
倒木処理



大型土のう設置

- 石川県の北部6市町については、定置網、底びき網等を再開し、漁獲金額で対前年比7割（漁獲量で6割）に回復。輪島地区では、7月から海女漁を試験的に再開し、9月からの刺し網漁、底びき網漁の再開、11月に解禁される底びき網によるずわいがに漁の本格的な操業を予定。
- 漁港の復旧については、地盤隆起のない地域では、応急工事によりほぼすべての漁港で陸揚が可能。地盤隆起が顕著な輪島市、珠洲市の16漁港のうち、漁業の再開を優先する6漁港の仮復旧工事に着手、9～10月にかけて順次漁業利用が可能。

1. 漁業再開の状況（漁港の仮復旧の進展等により順次再開）



2. 地盤隆起等甚大な被害を受けた漁港への対応



<漁港の復旧に向けて>

- ・国（水産庁）は、有識者による「能登半島地震漁業地域復旧・復興技術検討会」を設置し、①漁港施設の被害状況、被災パターンの分析、②被災パターンに応じた復旧方法・手順等について検討し、石川県が設置した「能登の水産関係港の復興に向けた協議会（復興協議会）」に提供。
- ・復興協議会では、7月10日に復興方針（骨子）をとりまとめ公表。
- ・地盤隆起等による甚大な被害が発生した外浦地域の16漁港のうち、漁業者との調整等により10漁港を、優先的に機能回復を図る漁港とし、うち6漁港は仮復旧工事に着手済。9～10月にかけて、採介藻漁、定置網漁等が順次利用可能。引き続き、令和6年度後半～7年度にかけて、本復旧工事に着手。
- ・地盤隆起のない漁港については、仮復旧工事等により、漁業再開に必要な陸揚げがほぼ可能。今後、順次本復旧工事に着手し、着工後概ね3年間（令和9年度まで）で復旧工事の完了を目指す。



赤神漁港の仮復旧工事（輪島市,8月）

輪島地区の漁業再開に向けた取り組み

- 輪島地区において、給油施設、製氷・貯氷施設、荷さばき施設、冷凍冷蔵施設等の各復旧対策を急ぐ。
- 主力漁業であるずわいがに漁について、11月からの解禁時に震災前と同水準での操業体制を目指す。

◆漁業再開スケジュール

| 漁業種類 | スケジュール |
|---------------------|-----------------------------------|
| 海女漁（もずく、さざえ等） | 7月からもずく漁の試験的再開、さざえ漁の再開に向け漁場調査を実施中 |
| 刺し網漁（あまだい、まだら等） | 9月から再開の予定※ |
| 底びき網漁（ずわいがに、あかがれい等） | 9月から再開、11月から本格再開の予定※ |

※操業方法等について、漁業者間で調整中

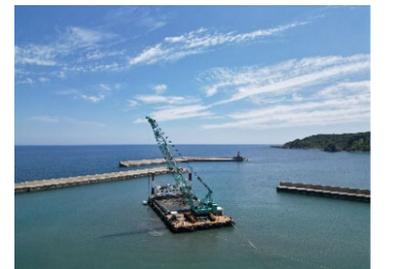
●輪島港の共同利用施設の復旧工程

| 施設名 | 内容 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月以降 |
|---------|-----------|----|----|----|-----|-----|-----|------|
| 給油施設 | タンクローリー対応 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 既設タンク復旧工事 | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 仮設タンク設置工事 | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 製氷・貯氷施設 | 5月から一部再開 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 他港からの移設 | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 荷さばき施設 | 7月から一部再開 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 損傷箇所復旧工事 | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 冷凍冷蔵施設 | 4月から再開 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

3. 現地支援の状況

○漁港・海岸の直轄代行工事

- ・狼煙漁港は、水深確保のための浚渫工事を実施中であり、9月末までに避難機能を一部回復。鵜飼漁港海岸は、珠洲市の復興まちづくりとも連携し、今後、復旧に向けた調査や設計等を実施。



狼煙漁港における浚渫工事（珠洲市,8月）

○漁業者による漁場環境調査等の取組支援

- ・石川県の輪島市、七尾市等では漁業者の生活を支えつつ、漁場環境回復のための活動や操業再開によって明らかとなった課題に対する漁場環境調査等を支援。（関係漁協15支所のうち、8支所において実施。）

○現地支援拠点を通じた対応等

- ・水産庁職員の活動拠点として4月に穴水町に設置した現地支援拠点を活用して、漁協支所等を訪問し、被災漁業者への支援策説明、県や漁協等との密接な連絡調整等を継続。
- ・漁港の災害復旧の早期実施に向けて、災害査定準備等を行う地方公共団体の漁港技術職員を石川県、富山県、輪島市等へ派遣するなど人的支援を継続。